

# 小林あかり | 2026年3月 レースレポート

---

## ■ 出場レース / 結果

- ・ Brussel - Opwijk (クラブレース) | 3月1日 : 16位
- ・ Midwest Cycling Classic (UCI 1.1) | 3月22日 : 88位

## ■ Brussel - Opwijk レースレポート



ベルギーに来て初戦となったレースである。ヨーロッパでもロードシーズンは始まったばかりであり、チームが変わった選手や各選手の状態が分からない中でのレースとなり、独特の緊張感があった。

自身は2月にアジア選手権を走っていたため、レース感への不安はなかったが、ヨーロッパのレース特有のスピードや集団の激しさは改めて感じた。

コースは石畳区間を含む周回コースであり、シクロクロス経験を活かして安定して走ることができた。また、集団内で前方に位置することの重要性を意識し、比較的良いポジションでレースを進めることができた。

石畳区間は緩やかな登りとなっており、レースの勝負所になると判断した。最終周回、その区間で先頭に出てペースを上げたことで、5名の先頭グループを形成し、集団との差を作ることに成功した。

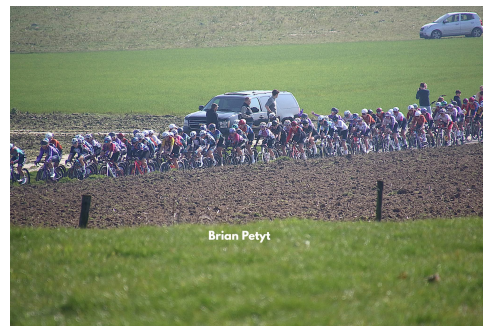
さらにチームメイトが後方の追走グループに入ったことで、チームとして有利な状況を

作ることができたが、残り1km地点で集団に吸収された。

最終的には集団スプリントとなり、16位でのゴールとなった。

逃げ切ることはできなかったが、自ら積極的にレースを動かすことができた点は大きな収穫であり、今後のUCIレースに向けて自信となる内容であった。

## ■ Midwest Cycling Classic (UCI 1.1) レースレポート



本レースはUCI1.1カテゴリーのレースであり、ワールドツアーレベルの選手も多く出場する非常にレベルの高い大会であった。

レース全体のスピードは非常に高く、さらに集団内での位置取り争いも激しく、常に高い集中力が求められる状況であった。

コースは道幅が急激に狭くなるなどテクニカルであり、ニュートラル区間から落車が発生する厳しい展開となった。

前半は集団前方で展開することができ、脚を温存した状態で後半に入ることができた。しかし後半に入ると、UCIチームによる位置取りのスピードに対応できず、徐々にポジションを下げる展開となった。

その結果、コーナーごとに加減速を繰り返すことになり、脚を消耗した。最終周回では前方へ上がる余力がなくなり、先頭集団から遅れて第2集団でのゴールとなった。

結果は88位であった。

今回のレースを通して、トップレベルで戦うために必要な力や、自身に不足している要素を明確に認識することができた。

## ■ 総括

3月はシーズン序盤のレースとして、積極的にレースを動かすことができた一方で、トップレベルとの差や課題を明確に認識することができた期間になりました。

今後はUCIレースが続くため、今回得た課題をトレーニングとレースの中で改善し、より高いレベルで安定してパフォーマンスを発揮できるよう取り組んでいきます。

引き続き、ご支援のほどよろしく願いいたします。

(小林あかりInstagram @akarikobayas1)